

「肌を冷やして、乾燥を防ぐのが目的」
 片桐衣理先生(43歳)
 札幌クリニック院長 011-5786-0700
 「日焼けをしたら、鎮静と保湿を心がけて。お手入れはその
 後で大丈夫。硬くなった肌を柔らかくするのが肝心」

今日の「日差し」に
 明日の「日焼け」に
 変えない魔法

真夏のUV 浴びても焼けない 白魔術

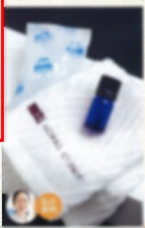
絶対、焼かない！と思うあまりに、気がつけば
 見た目が農家のお母さん。日差しを怖がり
 すぎるより、日差しを浴びても黒くしない方法を
 考えてみてはいかが？

撮影/小林愛香(人物)、山下忠之(人物・静物) ヘア・メイク/木下満子(sms)、伊藤由奈 取材/前田美紀 デザイン/小枝デザインオフィス



私の愛用！
 小枝デザインオフィス、化粧品を、化粧文を、サリ含有
 セコトニを、保ち、持続を、

冷コトンを常に持ち歩きます



冷感効果とソフトの感触で
 気持ちよく肌を冷やします



日差しでジリジリ、「焼けるかも」と感じたら
 >>>とにかく冷やす

日焼け止めですっかりガードしてきたつもり
 でも、強い日差しに負けて、頬や鼻の頭が
 ヒリヒリした経験は誰にでもあるはず。それは、
 軽い火傷のサイン。そのまま放っておくと、
 肌ダメージの原因になりかねません。
 そんなときは火傷治療をする要領で即熱を取り、
 肌を鎮静。その場で冷やすことが肝心です。

2 お家に帰ってすぐやるべきなのは、美白じゃありません >>> 炎症をSTOP

自宅に帰ったら、まずクレンジング&洗顔。
 そのあとに「炎症を抑える」ことが重要です。
 ほてった肌は、肌が興奮状態のようなもの。
 眠っているメラニンを起こさないためにも、
 肌をいったんクールダウンさせてください。
 このひと手間が、メラニンの生成を食い止め、
 シミのない白肌をキープできるのです。



炎症して乾いた肌をバクでふた
 肌への浸透を高めたら下準備OK
 植物性アラセクタ、ヒアルロン酸、ビタミンCを配合
 した「イースペシャル 保湿モイスターマスク」。次
 のステップへ入りやすい状態になります。

※マスクの名称ですが、正しくは「衣理モイスターマスク」になります。

「職業白肌、医魔女さんも実践している 「あっ! 焼けたかも」後の救急「日焼け防止」マニュアル



3 >>> 集中美白

その日の日焼けはその日のうちに、夜のスキンケアは

興奮が治まって肌が鎮静したら、夜ケアでリセット。ポイント、「溜めない」「作らせない」「乾かさない」の先回りケア。紫外線で傷んだ肌が再生するには2日かかるため、こすったりする刺激はシミの原因。スキンケアは押さえるようにそつと馴染ませてやさしくケア。日焼け後2日間は、メラニンを起こさないよう静かに過ごしましょう。

4 >>> ビタミン補給

肌が再生するタイミングに合わせて内から美白

紫外線を浴びた直後の肌は、体の内側から回復を助ける必要があります。ニンジンに含まれるビタミンAやカロテンには肌を丈夫にする働きが。ビタミンEは、体細胞の老化を防ぎます。美肌効果が高いビタミンCで活性酸素を抑えると、新陳代謝が正常に保たれ、メラニンの生成を防いでくれます。

日焼け後2日間は、メラニンを起こさないよう静かに過ごしましょう。

日焼け後2日間は、メラニンを起こさないよう静かに過ごしましょう。